



6月23日（月）浜の町アーケードハマクロス前にて県連統一署名行動を行いました。署名は『日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名』です。

行動には大浦1名、県連3名の計4名が参加。署名42筆を集めました。

街ゆく人からは「今大変な状況になっている、頑張ってください」「このままでは核戦争に巻き込まれる」等の意見が聞かれました。

米トランプ政権のイラン攻撃に対し、22日意見を求められた石破首相は「これから政府内で議論する」と述べるに留め見解を示しませんでした。当初イスラエルの対イラン先制攻撃に対しては「強く非難」を表明していたにも関わらずです。何か国に問題が起きたとき、軽々に意見を出さずに内部で精査を重ね慎重に意見を出すということはあるでしょう。しかし今回はある国がある国に対してミサイル攻撃をしたということに関して意見を求められたものです。瞬発的に「戦争は止めろ」と言えなくて首相が務まるのでしょうか。日本に災害が起きた時、政府内で議論を熟して対応を考えるとなるのでしょうか。

アメリカのバンカーバスターがイランの核濃縮施設の破壊に成功したのか失敗に終わったのかとする論調の報道が一部ありますが、成功し停戦が合意されたので攻撃は正しかったとする向きは大間違いだと思います。イラン側からすると、今後何としても核兵器を持たねばとなる危険性はないでしょうか。また核施設の破壊によるイランや近隣国の放射能被害をアメリカは一体どう考えているのでしょうか。無責任にも程があります。攻撃や軍拡からはさらなる攻撃や破壊しか生まれません。世界を平和に導くためには軍縮、核廃絶しかないはずです。そしてアメリカに対し、全く意見を言えずに何でもイエス、関税増も、軍事予算増もイエスとしか言えない政府にはもう交代してもらえないでしょうか。みなさん選挙に行きましょう。（この文章はGO VOTE NEWSではありません）

県連事務局 新木